第５次魚津市行政改革大綱（素案）に対するパブリックコメント実施結果

実 施 日：平成 26 年 12 月 19 日（金）から平成 27 年 1 月 19 日（月）まで

意見提出件数：11 件

【「市民との協働による行政の推進」に対する意見（要約）】

ご　意　見	魚津市の見解等
小学校の統廃合や公共施設の見直し、幼稚園・保育園の削減や縮小は、現在、市が進めている自治基本条例に基づく市民参画・市民協働の点から見ても水を差すものであり、それだけを取り上げられ進められては地域におけるまちづくりにはならない。 もう少し地域住民と話し合いの場を持って、どのようなまちにしていくのかを徹底的に協議すべきである。	今後、具体的に施設の統廃合を進めていくにあたっては、地域住民や利用者の方々からの意見の把握に努めるとともに、将来的なまちづくりのビジョンを持ちながら取り組んでいきたいと考えています。
昨今の魚津市は、人口減少に歯止めがかからず空き家・空き地が増加する一方である。 これらの資産を市の宝として有効活用（財政援助も含め）するため、市民から意見をもらいながら、若者が住みたい、利用したいと思うまちづくりを、市民との協働により実行できるようにしてはどうか。	空き家・空き地対策は、市の大きな課題であると考えています。 どのような方策が有効か、今後、市民の皆様からご意見を頂戴しながら検討を進め、対応していきたいと思います。
人口減少の時代に入り、拡散型から集約型（コンパクト）のまちづくりに方向転換すべきである。 また、バス路線の沿線で歩いて暮らせる生活拠点地域を創っていくべきだと考える。	まちづくりを考えたときに、コンパクトシティは効果的な姿のひとつであると考えます。 魚津市にとって最も効果的なまちづくりを進めていくためにも、多くの市民がまちづくりに参画できる環境づくりに努めていきたいと考えています。
人口減少時代において、魚津市のまちづくりはどうするのか。例えば、小学校を４校に統合するのであれば、魚津駅や市庁舎を中心に吉島・道下・本江・住吉を囲んだコンパクトシティとして何をどのようにしていくのかを、市民とともに考えていくなど、夢を育めるような計画を提案し、事業を進めてもらいたい。	

【「公共施設の適切な管理」に対する意見（要約）】

ご　意　見	魚津市の見解等
公共施設の老朽化が進み、修繕が相当必要な時期にきているが、地域振興会に財源を助成しボランティアで実施すれば、市の財政負担を相当軽減できるものと思われる。（ただし、ボランティアで実施可能な修繕範囲に限定される。）	今後、具体的に公共施設の見直しを進めていくにあたっては多額の費用が必要となることが想定されることから、財政負担の軽減が図られるよう様々な方策について検討していきたいと考えています。
小学校の統廃合により閉校となる学校の利活用について、市役所の各部署が利用するなど対応が必要である。（無駄なお金は使わない）	閉校となる小学校の跡地については、各地区の拠点施設として活用するなど効果的・効率的な利活用が図られるよう、検討を進めていきたいと考えています。

【「定員管理の適正化」に対する意見（要約）】

ご　意　見	魚津市の見解等
部局・課の関連性のあるものを総体的に見て統合し、行政活動の運営をスムーズに進めたほうが良い。 最小の部局に編成し直せば、より良い市民への対応が可能となりタイムリーな処置がとれる。 また、人員もさらに減少させることができると思われる。	人口減少や少子化問題など多方面の部局にまたがる困難な課題が増えてきていることから、部局横断的に市民サービスを提供できるよう、効果的・効率的な組織体制づくりを目指していきたいと考えています。 また、市民サービスに支障をきたさない範囲において、適正な定員管理に努めていきたいと考えています。

【「効果的・効率的な行財政経営の推進」に対する意見（要約）】

ご　意　見	魚津市の見解等
職員の削減・民間委託の実施を推し進め、「うすく・広く」のばらまき型の投資ではなく、効果的・拠点的な投資が必要だと思われる。	効果的・効率的な行財政経営を進めていくためにも、新たに策定する第５次行政改革大綱に基づきながら、引き続き行政改革を推進していきたいと考えています。

【その他の意見（要約）】

ご　意　見	魚津市の見解等
年に数回しか出現しない蜃気楼では観光客を招き入れることは難しいが、長期間眺めることができる毛勝山大雪渓の展望に適した場所に駐車場を整備し、また、経路の要所に道標を設け、魚津の観光の目玉としてはどうか。	ご意見として頂戴いたします。 平成 27 年度行政経営方針において、「観光の振興」を魚津市の重点施策としたところであり、北陸新幹線の開業も控えていることから、観光客の増加に向けた取組みをさらに進めていきたいと考えています。
ＬＥＤの元祖ともいえるホタルイカに関連して、ＬＥＤによるノーベル賞受賞者を滑川市と連携して魚津水族館に招待してはどうか。	
魚津市の人口から考えると、さらに議員数の削減を図るべきだと思う。	市議会議員の定数については、市議会において検討されるものと思われます。